

## 《俳句》

気がねなき友を迎えて今年酒

梅白し大姑の臥す離れ

鍋囲む曇るガラス戸外は雪

弓絞る女袴や京の雪

（三十三間堂の新年の通し矢を詠む）

〃



## 《川柳》

まだいける夢を探しに図書館へ

ひとつずつ夢を叶えてこの歳に

丁度よいところで目覚め朝仕度

母の夢叶えた私は自慢の子



文章表現を楽しむ科 題【夢】より

## 《短歌》

空たかく池と緑と白鷺と

アルパの音色に時は流れる

去りゆくや天変地異の平成が

安寧であれ次なる御世は

